

平成30年度 第13回 吹田市政策会議概要

日 時：平成31年1月22日（火）午前9時15分～午前9時45分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

構成員：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、小林税務部長、
岩田会計管理者、村上消防長

所 管：【行政経営部（企画財政室）】 稲田部長、今峰室長、橋本参事

案 件	平成31年度（2019年度）当初予算（案）について
担当及び関連部局	行政経営部（企画財政室）
<p>【案件概要】</p> <p>平成31年度当初予算について、平成31年1月22日現在の収支見込状況及び査定状況を示す。なお、平成31年度は統一地方選挙が行われるため、骨格予算編成とし、第4次総合計画の実現に向けた取組を含む新たな政策経費は、選挙後の補正予算に計上する。</p>	
<p>【所管部の考え方】</p> <p>予算編成のポイントは以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市税収入はリーマン・ショック前の水準を上回るまでに回復 ② 第4次総合計画の実現に向けた取組をスタート ③ 平成32年度（2020年度）の中核市移行、市制施行80周年を見据えた取組を推進 ④ 幼児教育・保育の無償化など子育て支援施策の充実 ⑤ 健康・医療のまちづくりや、新たな公共施設・インフラの整備、老朽化施設の改修・長寿命化 	
<p>【質疑概要】</p> <p>指示：平成32年度以降の普通建設事業費の増加が予想される。今の事業の見直しを行った上での取組が必要である。</p> <p>指示：今回の予算は骨格予算とはいえ、計画的に進めていくことが決定している政策経費に関しては計上済みである。</p> <p>歳出はある程度計画的に計上できるが、歳入は景気に左右されるため予測が難しい。平成31年度の当初予算の市税収入は、リーマン・ショック前の水準を上回っており、景気がいいと言えるが、社会保障関係経費が今後も確実に伸びていく中、急に30億円程度の歳入が減少する可能性があることも意識し、見直すべき施策・事業は今のうちに見直すこと。</p> <p>また、施策・事業の見直しに限らず、手法も見直すこと。長時間勤務の是正、ワーク・ライフ・バランスの実現のため、システム化、委託化などの手法を今のうちに検討して取り組んでおくこと。</p>	

指示： 資料1の「4 財政状況の推移」を見ると、平成27、28年度から歳入歳出の傾向が変わったといえる。これまで予算を絞ってきた福祉の分野においては、必要な事業の再構築、見直しを行った。保育に関しては、3年間で約70億円の投資を行い、保育需要の急激な伸びに対応した。学校施設の大規模改修や健都等のハード整備も進めた。また、地震や台風の被害により相当な経費を要した。

人件費に関しては、ワーク・ライフ・バランスを実現しながら働ける環境を整備するために職員を採用したが、人件費はそう上がっていない。

今後は、中核市移行に伴い、歳入歳出の傾向が更に変化していくことが予想されることから、財政状況の傾向を把握するため、分析をしていくこと。

【結果】

本案件は承認された。手続を進めること。